## 基礎コンピュータ工学 第2章 情報の表現 (パート4:小数や文字の表現)

https://github.com/tctsigemura/TecTextBook

本スライドの入手:



基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(/

## 2進数の和差の計算(復習)

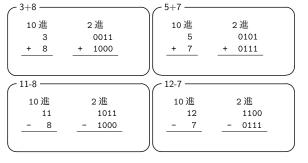
2進数の場合は以下のようになる.

析借りでは2借りてくる. 011 101 100

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(パー

### 2 進数の和差の計算(復習)

10進数の計算と2進数の計算をしなさい.



基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現 (バ

### 負数の表現(復習)

● 2の補数による負数の表現

2の補数  $(2^n - x)$  を負数の表現に使用する.

- 4 ビット 2 進数の 2 の補数(2<sup>4</sup> – x = y)-

もとの数 (x)	補数へ変換		補数 (y)
0	1 0000 2 0000 2	=	$10000_{2}$
1	$10000_2 - 0001_2$	=	$1111_{2}$
2	1 0000 2 - 0010 2	=	$1110_{2}$
3	$10000_{2} - 0011_{2}$	=	$1101_{2}$
4	$10000_{2} - 0100_{2}$	=	$1100_{2}$
5	1 0000 2 - 0101 2	=	$1011_{2}$
6	$10000_{2} - 0110_{2}$	=	$1010_{2}$
7	$10000_{2} - 0111_{2}$	=	$1001_{2}$
8	$10000_{2} - 1000_{2}$	=	$1000_{2}$

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現 (バー

#### 負数の表現(復習)

- 2の補数の求め方
  - ビット反転+1

 $x = +3_{10} = 0011_2$  (もとの数)

 $y = -3_{10} = 1100_2 + 1 = 1101_2$ (2の補数)

#### 元に戻すのもビット反転+1

 $y=-3_{10}=1101_2$ (2の補数)

 $y = +3_{10} = 0010_2 + 1 = 0011_2$  (もとの数)

• 表現できる数値の範囲

4 ピット: $-8\sim +7 \ (-2^3\sim +(2^3-1))$  n ピット: $-2^{n-1}\sim +(2^{n-1}-1)$ 

正負の判定

最上位ビットが

0:正の値を表現している. 1:負の値を表現している.

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

# 負の数を含む計算

#### 2の補数表現の負数は符号無し2進数と同じ手順で計算できる!!

• 最上位ビットからの桁上げは無視する.

- 仕組み
  - 正の数と負の数の和(-bを2の補数(2<sup>n</sup> b)と表現する) 正の値 a と負の値-b の和を計算し 2<sup>n</sup> (最上位の桁上げ) を無視する
  - a+(-b) = a+(2<sup>n</sup> b) = 2<sup>n</sup> + a b = a b

    **負の数の和**(-a, -b を 2 の補数で表現する) 2" (最上位からの桁上げ) を一つ無視すると  $(-a) + (-b) = (2^n - a) + (2^n - b) = 2^n - (a + b)$

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

## 負の数を含む計算

#### 2の補数表現の負数は符号無し2進数と同じ手順で計算できる!!

● 最上位ビットの桁借りは**制限なし**とする.

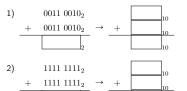
- 仕組み
  - **。 正の数と負の数の差** (-b を 2 の補数  $(2^n-b)$  と表現する) 正の値 a と負の値-b の差を計算し  $-2^n$  (最上位の桁借り) を許す  $a-(-b)=a-(2^n-b)=-2^n+a+b=a+b$
  - 負の数と負の数の差(-a, -b を 2 の補数で表現する)
     2<sup>n</sup> (最上位からの桁上げ)を一つ無視すると(-a) (-b) = (2<sup>n</sup> a) (2<sup>n</sup> b) = (-a) + b

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現 (バー

7 / 16

## 負数を含む計算(問題1/2)

**問題11**:次の計算を2進数と10進数でしなさい。 (ただし,2進数は2の補数表現形式になっている)



基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

0./10

### 負数を含む計算(問題2/2)

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

#### 2進数による小数の表現

 $11.11_2 = 3.75_{10}$ 

#### **固定小数点方式**(小数点の位置を**約束**する。)

 $00.00_2 = 0.0_{10}$ 桁の重み  $00.01_2 = 0.25_{10}$ • 小数点から左に進むと2倍  $00.10_2 = 0.5_{10}$  $001.0000_2 = 1.0_{10}$  $00.11_2 = 0.75_{10}$  $010.0000_2 = 2.0_{10}$  $01.00_2 = 1.0_{10}$  $100.0000_2 = 4.0_{10}$  $01.01_2 = 1.25_{10}$  $01.10_2 = 1.5_{10}$ • 小数点から右に進むと 1/2倍  $01.11_2 = 1.75_{10}$  $000.1000_2 = 0.5_{10}$  $10.00_2 = 2.0_{10}$  $000.0100_2 = 0.25_{10}$  $000.0010_2 = 0.125_{10}$ 

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

 $000.0001_2 = 0.0625_{10}$ 

10 / 16

#### 固定小数点方式2進数 → 10進数

桁の重みを合計する.

$$\begin{aligned} 10.01_2 &= 1\times 2 + 0\times 1 + 0\times 1/2 + 1\times 1/4\\ &= 2 + 0 + 0 + 1/4\\ &= 2 + 0.25\\ &= 2.25 \end{aligned}$$

問題12:2進数を10進数に変換しなさい.

- **1)** 0101.1010<sub>2</sub>
- **2)** 0011.0011<sub>2</sub>
- **3)** 0100.0101<sub>2</sub>
- **4)** 1010.1111<sub>2</sub>

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(パー

# 10 進数 → 固定小数点方式 2 進数

2進数  $\times 2$  lt 10 進数 0.1012 左シフ 0.625トと同じ 1.250  $1.010_{2}$ 2 進数  $\times 2$  l‡ 10 進数  $0.010_{2}$ 0.250トと同じ 0.500  $0.100_{2}$ 2 進数  $\times 2$  lt 10 進数 0.1002 左シフ 1.0002 トと同じ

10 進数で計算したとき,小数点を横切って整数部に出てきた数を小数点の右に順番に並べると  $0.\underline{101}_2$  になる.

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

12/

## 固定小数点方式2進数 → 10進数

問題13:10進数を2進数に変換しなさい. 但し2進数は、小数点以下4桁、全体で6桁とする.

- **1)** 0.75<sub>10</sub>
- **2)** 0.5625<sub>10</sub>
- **3)** 2.5<sub>10</sub>
- **4)** 1.1875<sub>10</sub>

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現 (パー

# 文字の表現

ASCII **コード (**American Standard Code for Information Interchange) 1963 年にアメリカ規格協会(ANSI)が定めた情報交換用の文字コード。 (上位 3 ビット)

		0	1	2	3	4	5	6	7
	0	NUL	DLE	(59)	0	0	P	,	Р
	1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
	2	STX	DC2	"	2	В	R	b	r
	3	ETX	DC3	#	3	С	S	С	S
	4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
2	5	ENQ	NAK	%	5	E	U	е	u
(下位 4 ビット)	6	ACK	SYN	å	6	F	V	f	v
	7	BEL	ETB	•	7	G	W	g	W
	8	BS	CAN	(	8	Н	Х	h	х
$\Box$	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	у
	Α	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
	В	VT	ESC	+	;	K	[	k	-{
	С	FF	FS	,	<	L	/	1	_
	D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
	Е	SO	RS		>	N	^	n	~
	F	SI	US	/	?	0	_	0	DEL

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(パー

### 文字の表現

JIS (Japan Industrial Standard: **日本工業規格**) 8**ビットコード** JIS 8ビットコードは, ASCII コードに半角カタカナを追加したもの. 記号, 数字, 英字の部分は, ぼぼ, 同じ並びになっている.

								(±	位4	ビッ	h)						
	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Α	В	C	D	Ε	F
	0	NUL	DLE		0	@	Р	,	р				200	×	96		
	1	SOH	DC1	!	1	Α	Q	a	q			9	7	#	A		
	2	STX	DC2		2	В	R	b	r			8	4	2	34		
	3	ETX	DC3	#	3	С	S	С	s			3	*2	于	Ħ		
	4	EOT	DC4	\$	4	D	Т	d	t			200	32	b	*		
	5	ENQ	NAK	%	5	Е	U	е	u			36	*	#	22		
(下位4ビット)	6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v			97	ħ	1	*		
	7	BEL	ETB	,	7	G	W	g	W			7	*	3	÷		
	8	BS	CAN	(	8	Н	Χ	h	х			*	7	¥	9		
	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	У			77	37	2	A.		
Z	Α	LF	SUB	*	:	J	Ζ	j	z			20	3	25	ν		
_	В	VT	ESC	+	;	K	[	k	{			te	**	12	17		
	U	FF	FS	,	<	L	*	1	_			*	2	7	77		
	D	CR	GS	-	=	М	]	m	}			11	X	Α,	×		
	Ε	SO	RS		>	Ν	(	n	888			m	セ	赤	***		
	F	SI	US	/	?	0		0	DEL			19	7	7			

はASCIIコード表と異なる部分

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現 (バー

15 / 16

# 補助単位

1,000m を 1km, 1,000g を 1kg, 0.001 l を 1ml, 0.001m を 1mm ここで,k や m は補助単位と呼ばれる.

		一般的	に	記憶容量					
ſī	ī	記号	読み方	値	記号	読み方			
1	$0^{3}$	k	キロ	$2^{10}$	Ki	キビ			
1	$0^{6}$	М	メガ	$2^{20}$	Mi	メビ			
1	$0^{9}$	G	ギガ	$2^{30}$	Gi	ギビ			
10	12	T	テラ	$2^{40}$	Ti	テビ			

- 通常は 10<sup>3</sup> 毎に補助単位がある。
- コンピュータの記憶容量では  $2^{10}$  毎に補助単位がある.  $2^{10}=1,024=1$  Ki  $10^3=1,000=1$  k

基礎コンピュータ工学第2章 情報の表現(バー

16 /